

サービス産業活動図表集

2020年2月の第3次産業活動指数の状況

2020 年 4 月 17 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

2020年2月の第3次産業活動指数の状況

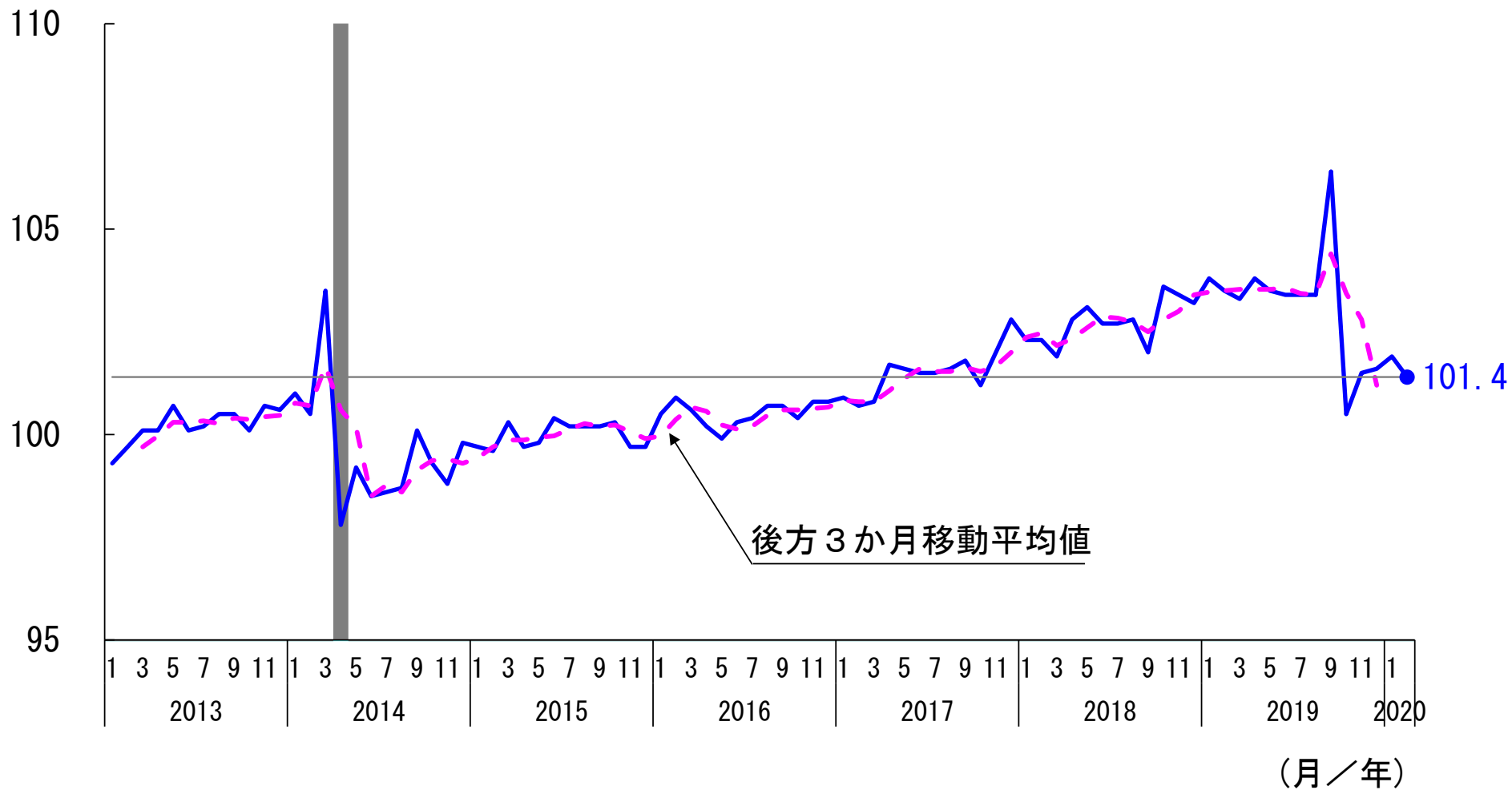
月次	第3次産業総合		広義対個人サービス		広義対事業所サービス	
季調済指数	101.4		100.6		102.1	
前月比	-0.5%		-0.9%		-0.4%	
指数水準	2019.10	100.5以来	2019.10	98.9以来	2019.12	101.4以来
	①2014.4	97.8	①2014.4	97.3	①2014.4	97.3
	②2014.6	98.5	②2014.6	98.2	②2014.8	98.2
	③2014.7	98.6	③2014.7	98.3	③2014.11	98.6
前月比の動き	4か月ぶりー (2019.10以来)		2か月ぶりー (2019.12以来)		2か月ぶりー (2019.12以来)	
前月比幅	2019.10	-5.5%以来	2019.10	-6.7%以来	2019.10	-6.1%以来
	①2014.4, 2019.10	-5.5%	①2019.10	-6.7%	①2014.4	-6.9%
	②2014.10, 2018.9	-0.8%	②2014.4	-5.6%	②2019.10	-6.1%
	③2014.6	-0.7%	③2014.2	-1.3%	③2016.5	-1.2%
原指数	96.7		95.7		97.6	
前年同月比	-0.9%		0.1%		-1.9%	
前年同月比の動き	5か月連続ー (2019.10～当月)		5か月ぶり＋ (2019.9以来)		5か月連続ー (2019.10～当月)	
前年同月比幅	2020.1	-1.4%以来	2019.9	4.9%以来	2019.11	-2.6%以来
	①2019.10	-3.8%	I 2019.9	4.9%	①2014.11	-4.1%
	②2015.3	-2.8%	II 2014.3	3.0%	②2019.10	-3.3%
	③2014.4	-2.7%	III 2016.2	2.9%	③2014.8	-3.2%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

・ 2020年2月の第3次産業活動指数は、101.4(前月比-0.5%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年2月

「第3次産業活動は、足踏みのなかに弱さがみられる」

基調判断の推移

- ・ 2015年1月～4月 「持ち直している」
- ・ 2015年5月～6月 「足踏みがみられる」
- ・ 2015年7月～9月 「横ばい傾向」
- ・ 2015年10月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2015年11月 「一進一退」
- ・ 2015年12月～2016年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・ 2016年4月～10月 「一進一退」
- ・ 2016年11月～2017年4月 「横ばい」
- ・ 2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2017年11月～2018年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・ 2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・ 2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年3月～2019年6月
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・ 2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2019年8月～2019年9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・ **2020年2月～ 「足踏みのなかに弱さがみられる」**
(2015年1月より基調判断を実施)

		第3次産業 総合	
			前期比 (%)
2017年	I期	100.8	0.1
	II期	101.6	0.8
	III期	101.6	0.0
	IV期	102.0	0.4
2018年	I期	102.2	0.2
	II期	102.9	0.7
	III期	102.5	-0.4
	IV期	103.4	0.9
2019年	I期	103.5	0.1
	II期	103.6	0.1
	III期	104.4	0.8
	IV期	101.2	-3.1

(2015年=100、季節調整済)

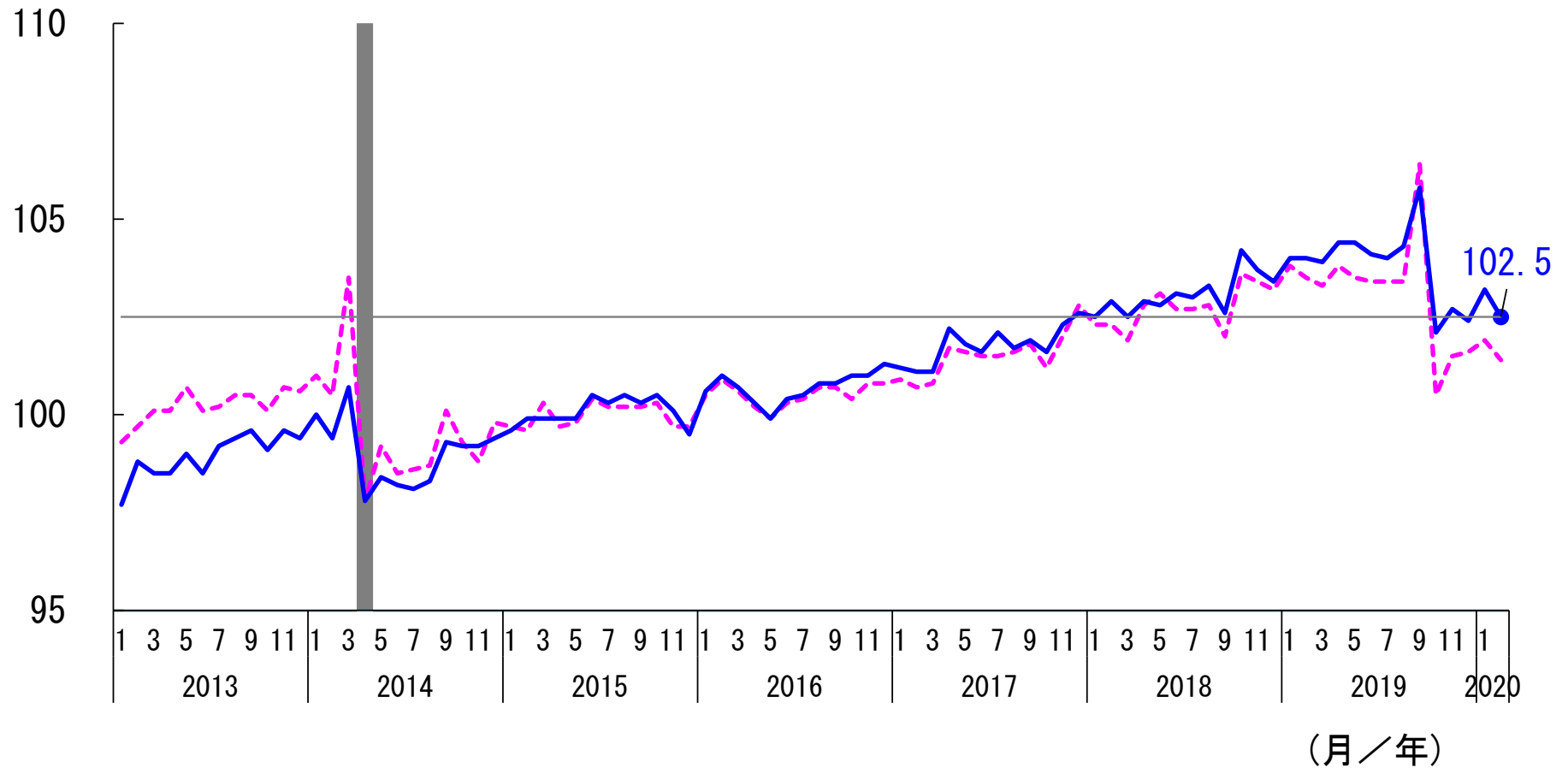
		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均		
			前期比 (%)		前期比 (%)	
2017年	3月	100.8	0.1	100.8	0.0	
	4月	101.7	0.9	101.1	0.3	
	5月	101.6	-0.1	101.4	0.3	
	6月	101.5	-0.1	101.6	0.2	
	7月	101.5	0.0	101.5	-0.1	
	8月	101.6	0.1	101.5	0.0	
	9月	101.8	0.2	101.6	0.1	
	10月	101.2	-0.6	101.5	-0.1	
	11月	102.0	0.8	101.7	0.2	
	12月	102.8	0.8	102.0	0.3	
	2018年	1月	102.3	-0.5	102.4	0.4
		2月	102.3	0.0	102.5	0.1
3月		101.9	-0.4	102.2	-0.3	
4月		102.8	0.9	102.3	0.1	
5月		103.1	0.3	102.6	0.3	
6月		102.7	-0.4	102.9	0.3	
7月		102.7	0.0	102.8	-0.1	
8月		102.8	0.1	102.7	-0.1	
9月		102.0	-0.8	102.5	-0.2	
10月		103.6	1.6	102.8	0.3	
11月		103.4	-0.2	103.0	0.2	
12月		103.2	-0.2	103.4	0.4	
2019年	1月	103.8	0.6	103.5	0.1	
	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0	
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0	
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0	
	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0	
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1	
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2	
	8月	103.4	0.0	103.4	0.0	
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0	
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0	
	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6	
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6	
2020年	1月	101.9	0.3	101.7	0.5	
	2月	101.4	-0.5	101.6	-0.1	

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

・ 2020年2月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、102.5(前月比-0.7%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業

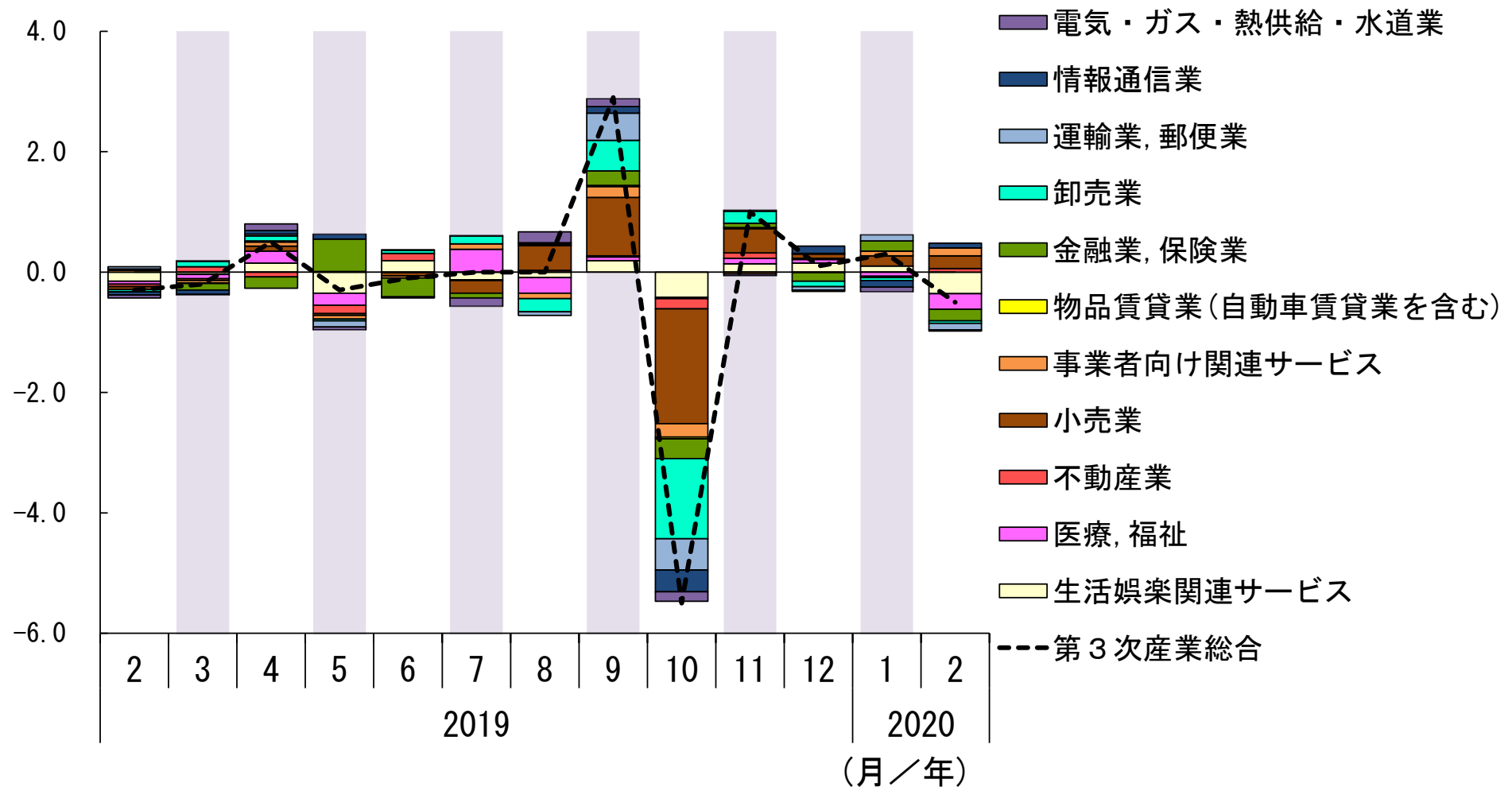


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2020年2月の第3次産業活動指数は、小売業などが上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前月比-0.5%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

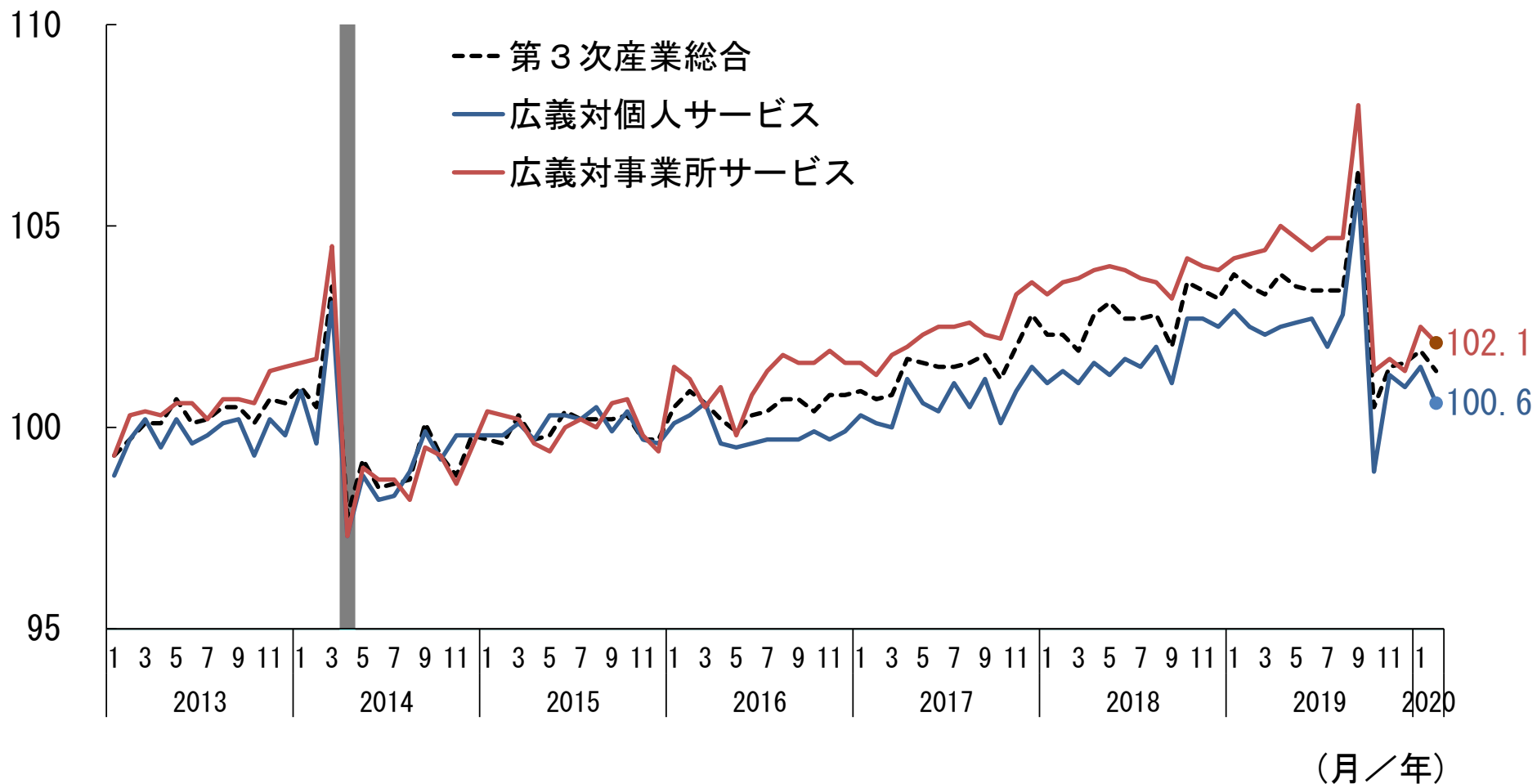
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	- 3.3%	- 73.6%
	内訳業種	宿泊業	- 12.5%	- 25.8%
		飲食店, 飲食サービス業	- 1.9%	- 15.5%
	2位の業種	医療, 福祉	- 1.9%	- 52.0%
	内訳業種			
	3位の業種	金融業, 保険業	- 2.2%	- 38.7%
内訳業種	保険業 金融商品取引業, 商品先物取引業	- 1.2% - 4.7%	- 8.0% - 5.2%	
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	小売業	1.8%	42.6%
	内訳業種	飲食料品小売業	3.4%	24.8%
		自動車小売業	4.1%	12.8%
	2位の業種	事業者向け関連サービス	1.4%	26.5%
	内訳業種			
	3位の業種	情報通信業	0.9%	17.0%
内訳業種	ソフトウェア業 通信業	2.9% 1.2%	14.6% 8.4%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2020年2月の広義対個人サービス活動指数は、100.6(前月比-0.9%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、102.1(前月比-0.4%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

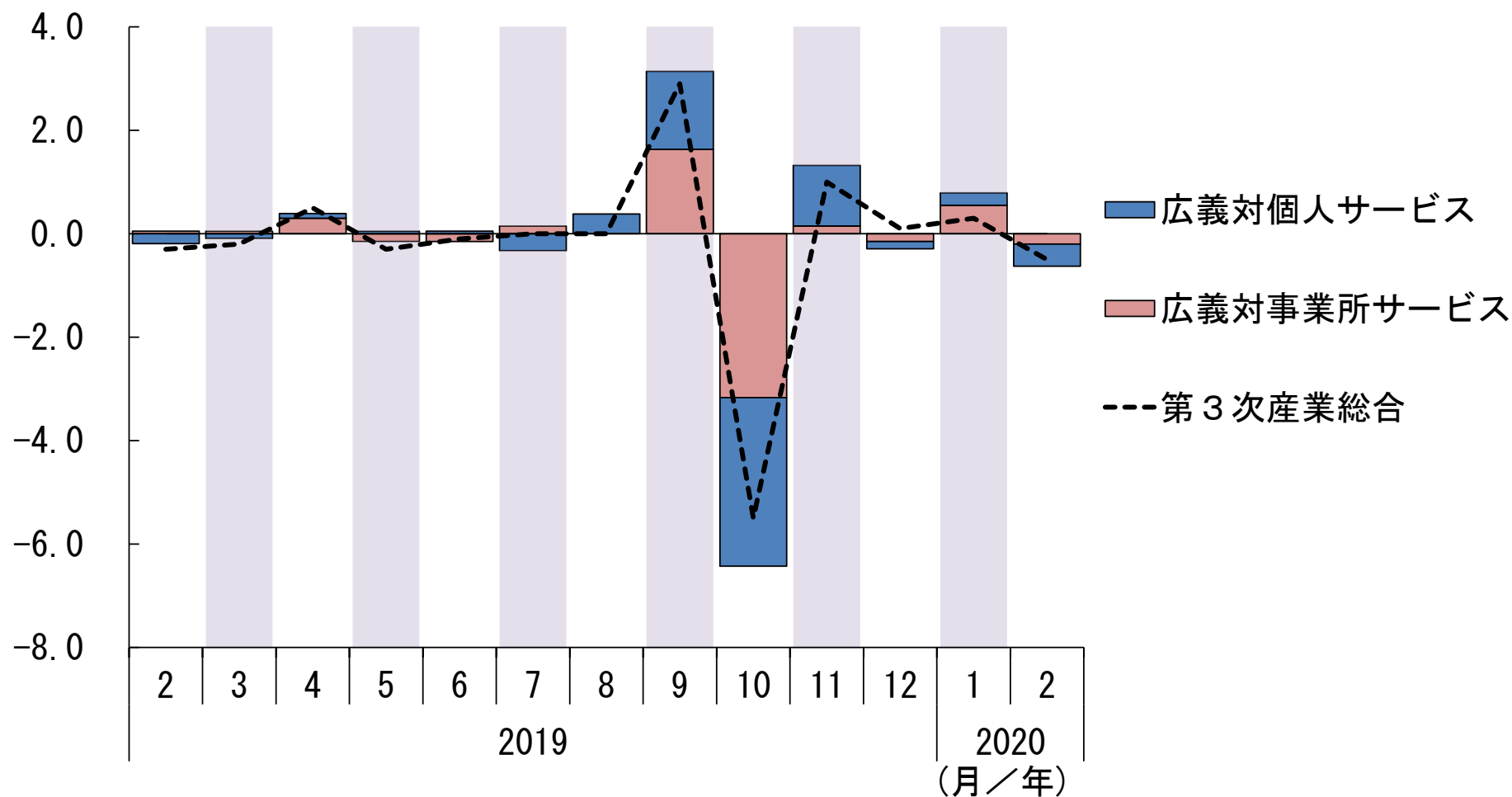


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2020年2月の第3次産業活動指数は、前月比-0.5%の低下。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに低下。

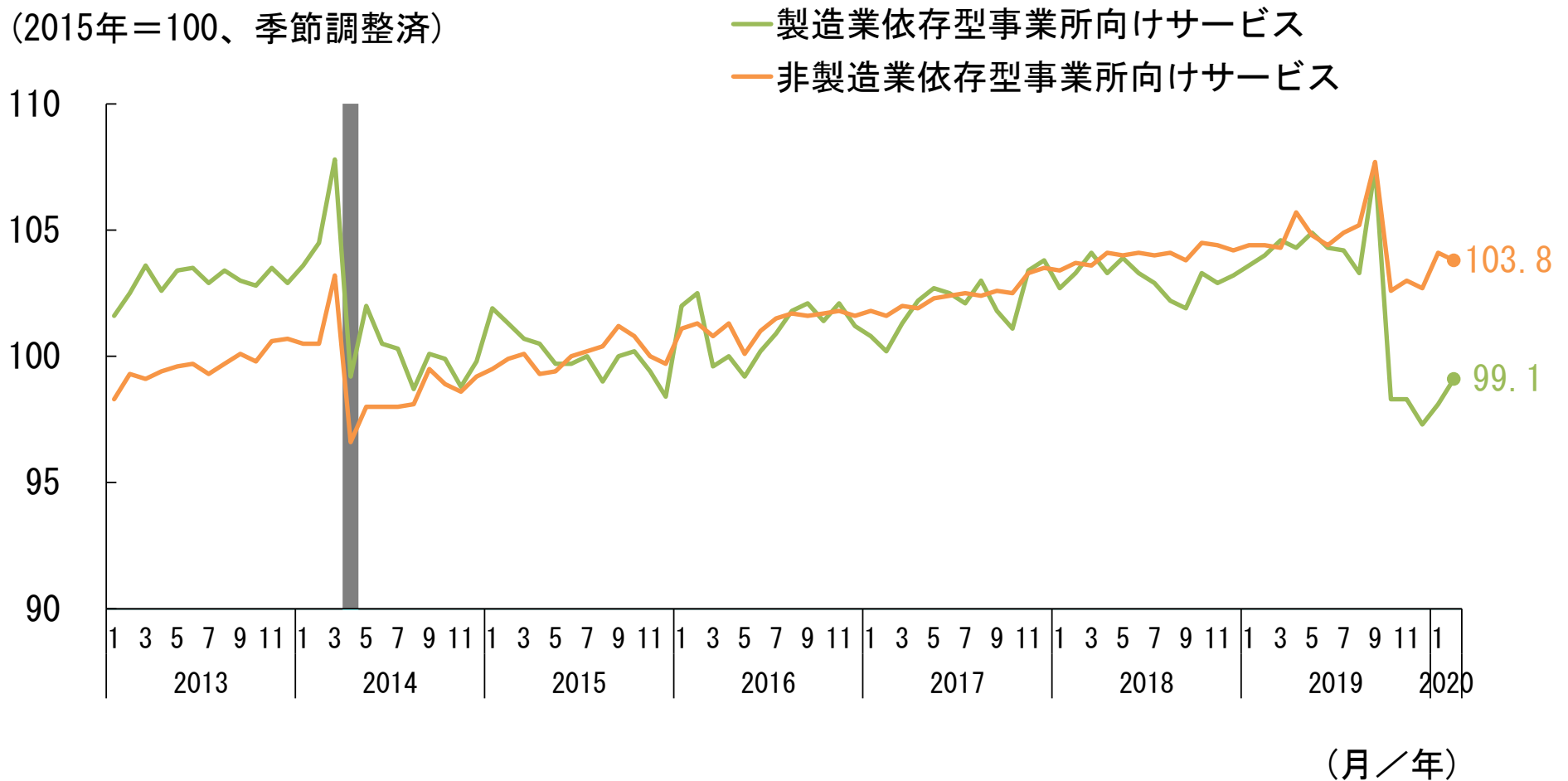
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、99.1(前月比1.0%)と2か月連続の上昇。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、103.8(前月比-0.3%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

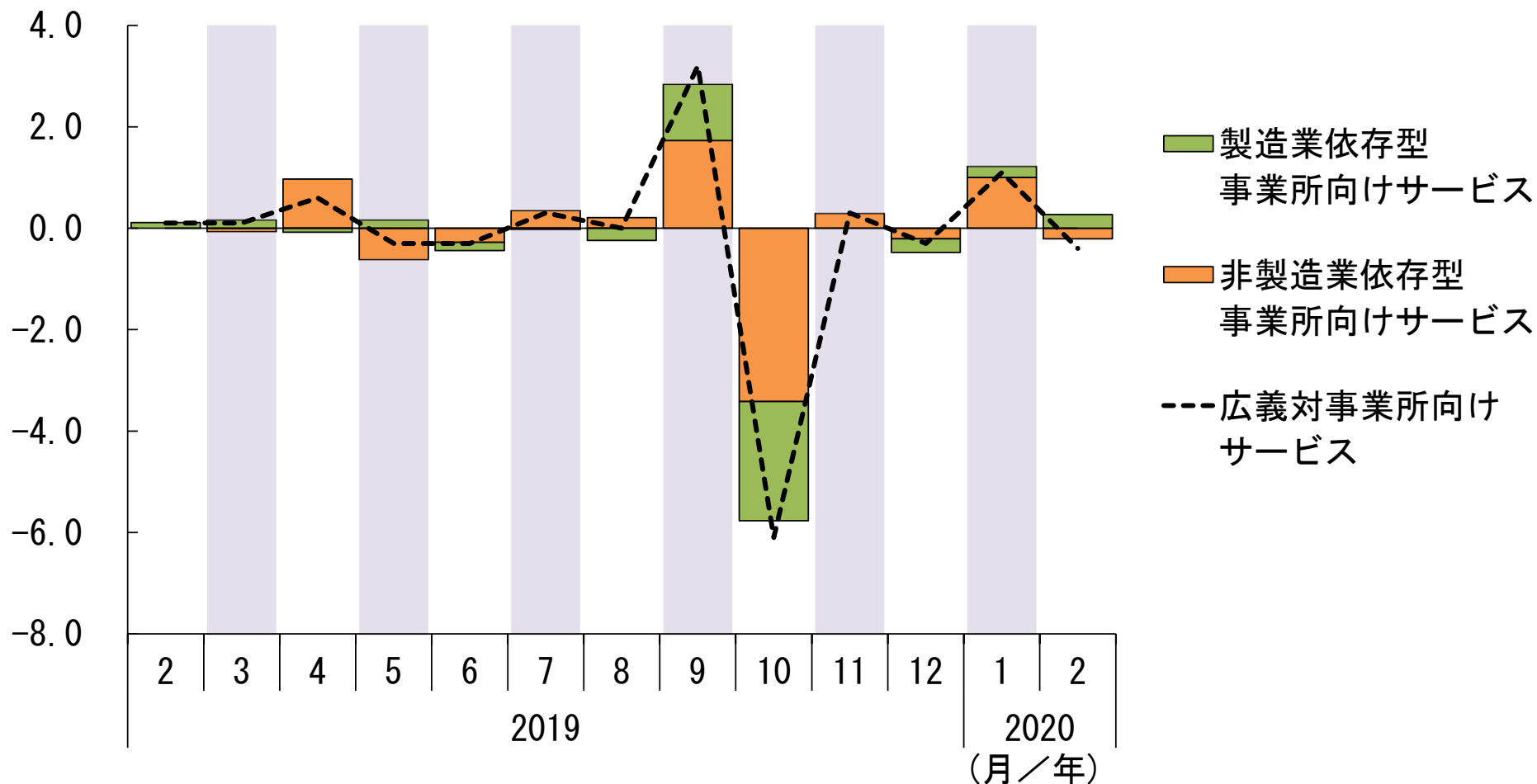


(注)1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

・ 2020年2月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比-0.4%の低下。製造業依存型事業所向けサービスが上昇したものの、非製造業依存型事業所向けサービスが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

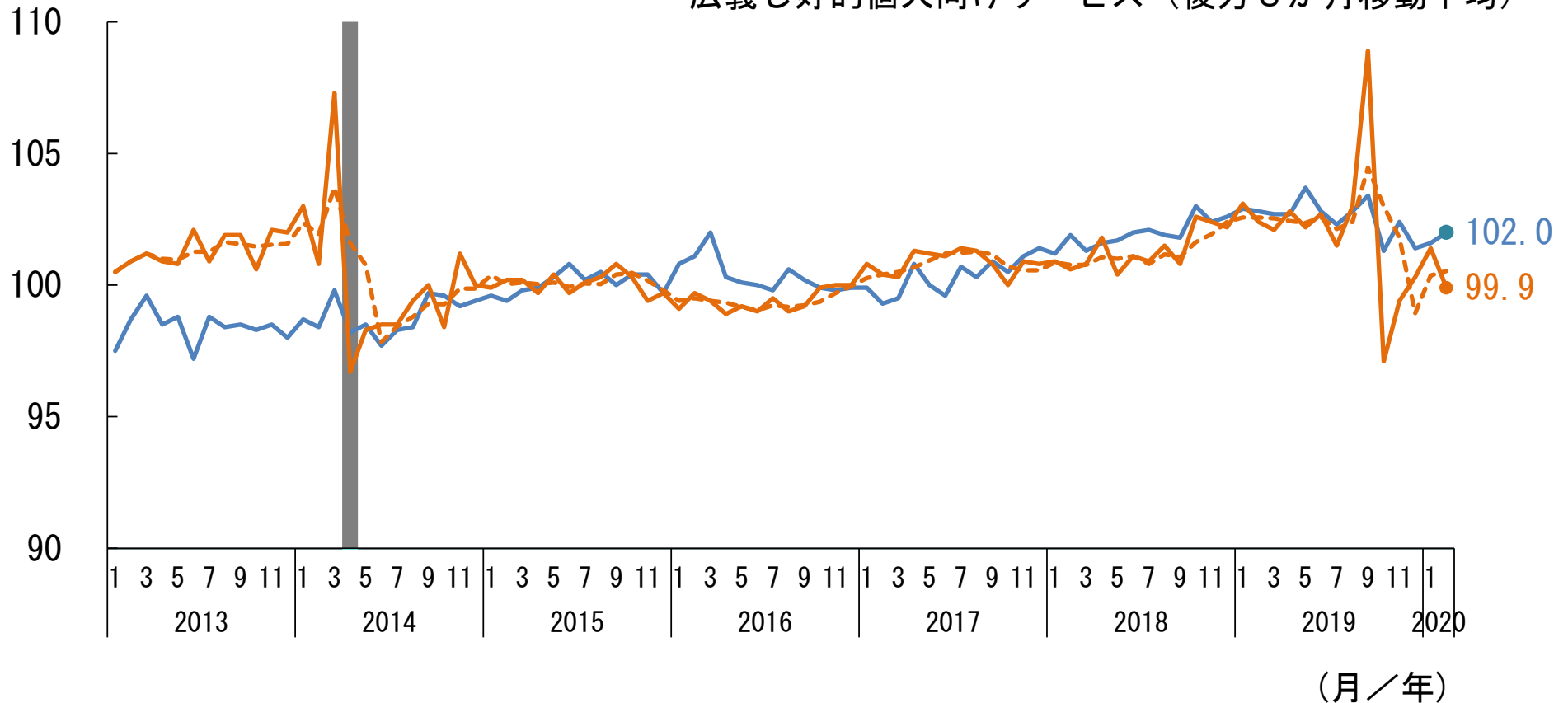


非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2020年2月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、102.0(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、99.9(前月比-1.5%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス
 — 広義し好的個人向けサービス
 - - - 広義し好的個人向けサービス (後方3か月移動平均)

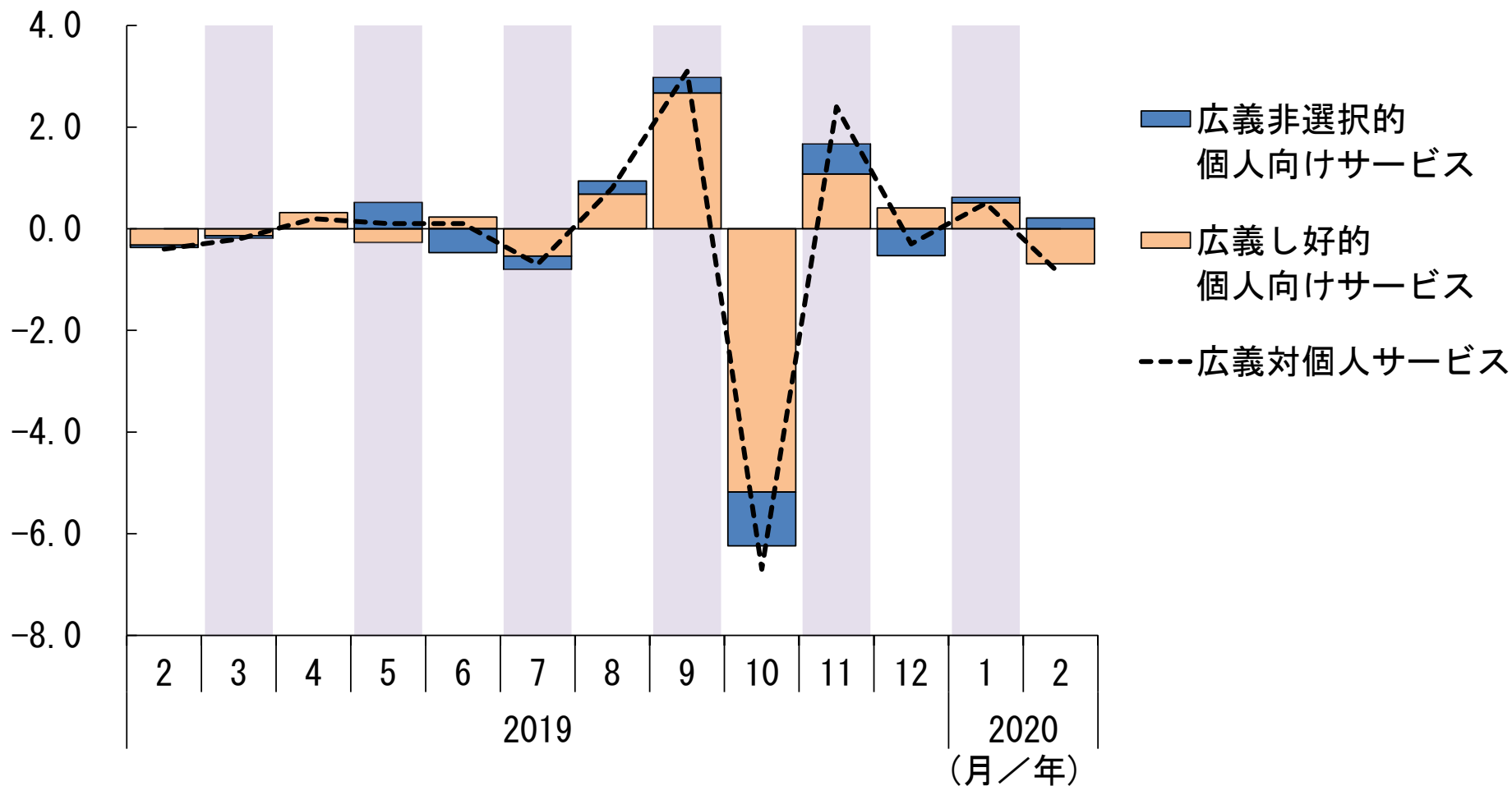


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2020年2月の広義対個人サービス活動指数は、前月比-0.9%の低下。広義非選択的個人向けサービスが上昇したものの、広義し好的個人向けサービスが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	産業機械器具卸売業	- 3.7%
	受注ソフトウェア	- 2.1%
	リネンサプライ業	- 12.0%
	一般貨物自動車運送業	- 0.9%
	衣服・身の回り品卸売業	- 9.6%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	流通業務	33.0%
	食料・飲料卸売業	2.4%
	化学製品卸売業	3.5%
	建築材料卸売業	3.4%
	土地売買業	9.5%

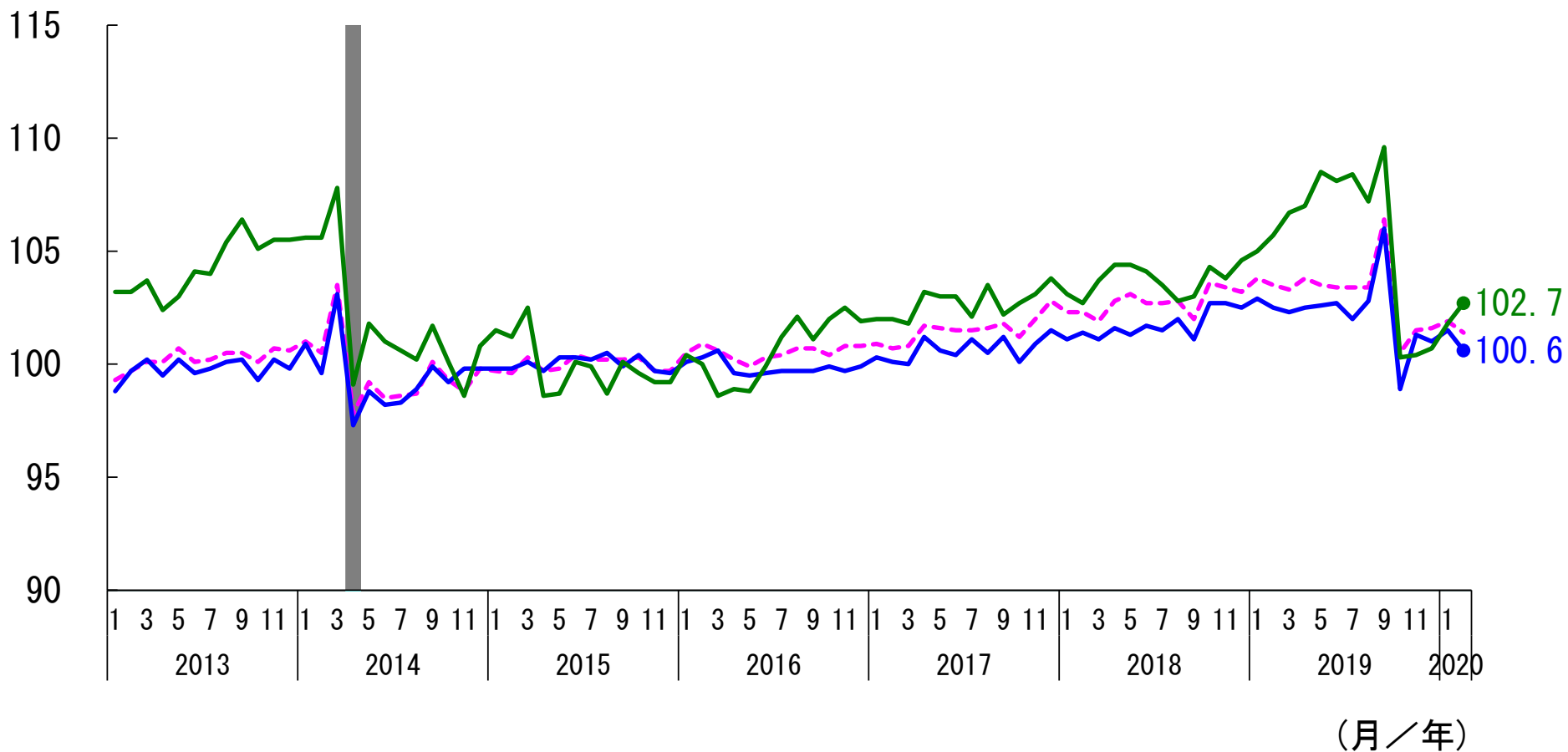
	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	- 4.4%
	食堂, レストラン, 専門店	- 1.8%
	遊園地・テーマパーク	- 14.8%
	国内旅行	- 11.2%
	浴場業	- 26.1%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	自動車小売業	4.1%
	医薬品・化粧品小売業	2.9%
	機械器具小売業	4.5%
	自動車整備業(家庭用車両)	9.7%
	ゴルフ場	9.5%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・ 2020年2月の消費向けサービス活動指数は、100.6(前月比-0.9%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、102.7(前月比0.9%)と4か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 消費向け — 投資向け

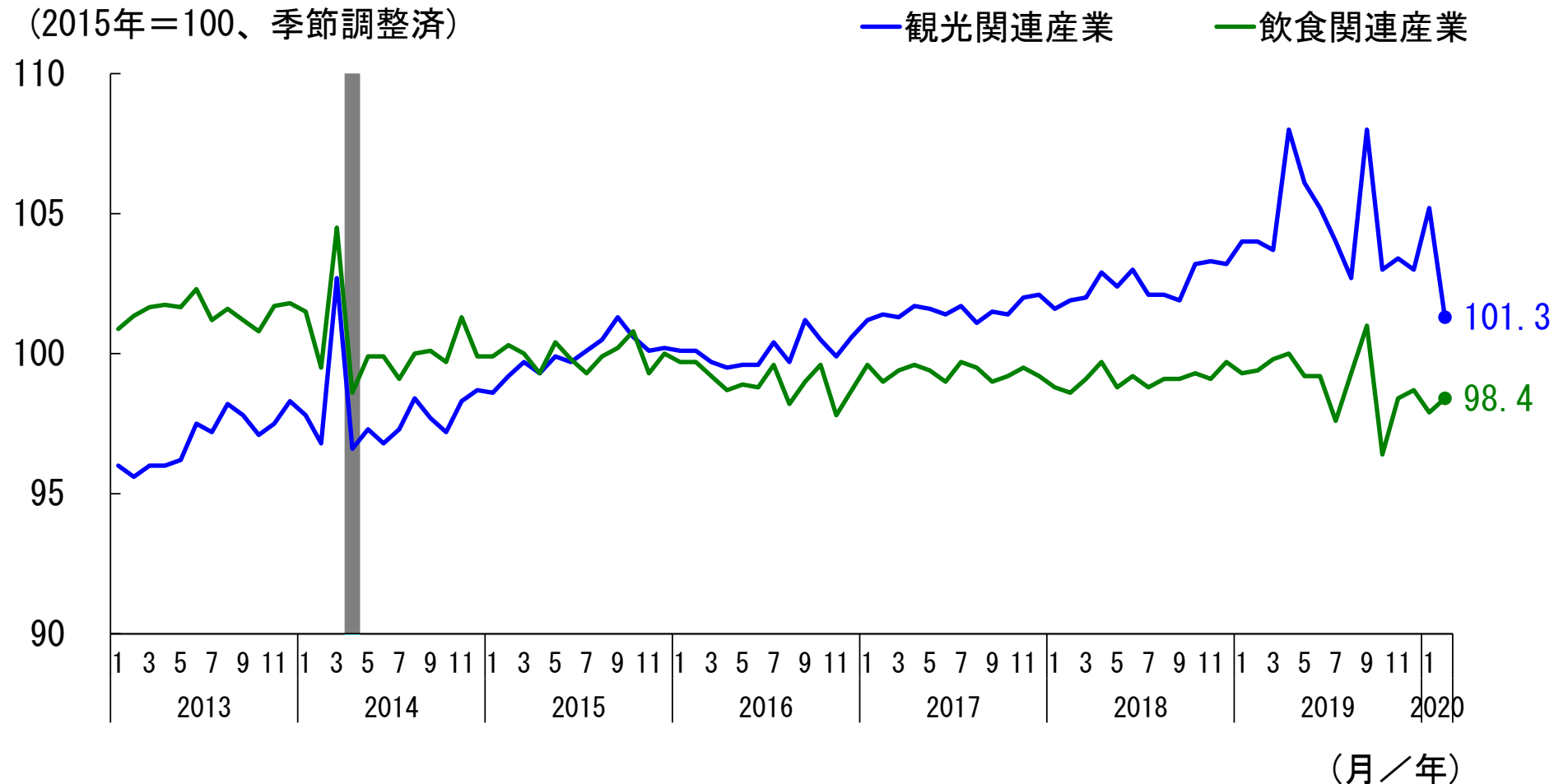


(注) 1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
 2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・ 2020年2月の観光関連産業活動指数は、101.3(前月比-3.7%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、98.4(前月比0.5%)と2か月ぶりの上昇。

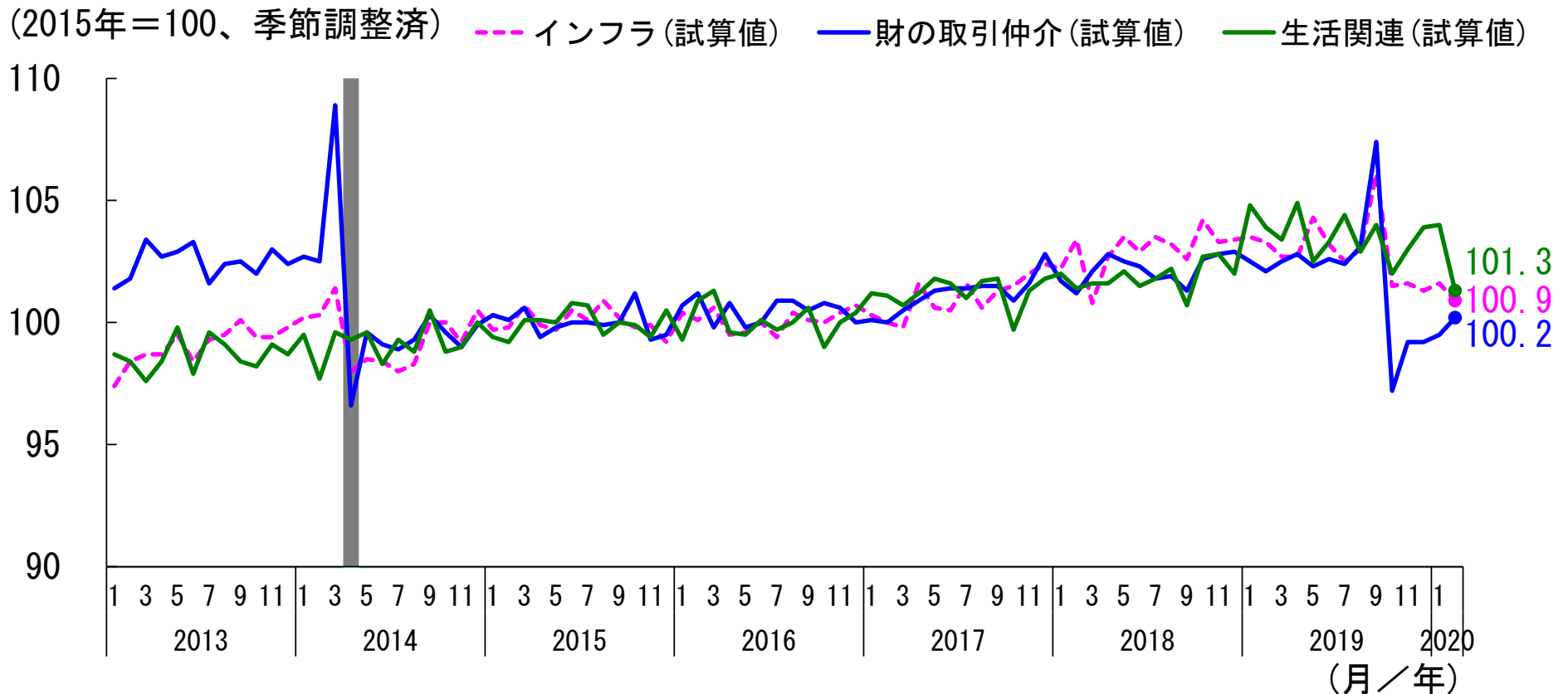
(2015年=100、季節調整済)



(注)1. 観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数は、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。
 2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

形態別に見たサービス活動指数の動向

- ・ 2020年2月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、100.9(前月比-0.7%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、100.2(前月比0.7%)と2か月連続の上昇。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、101.3(前月比-2.6%)と4か月ぶりの低下。



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

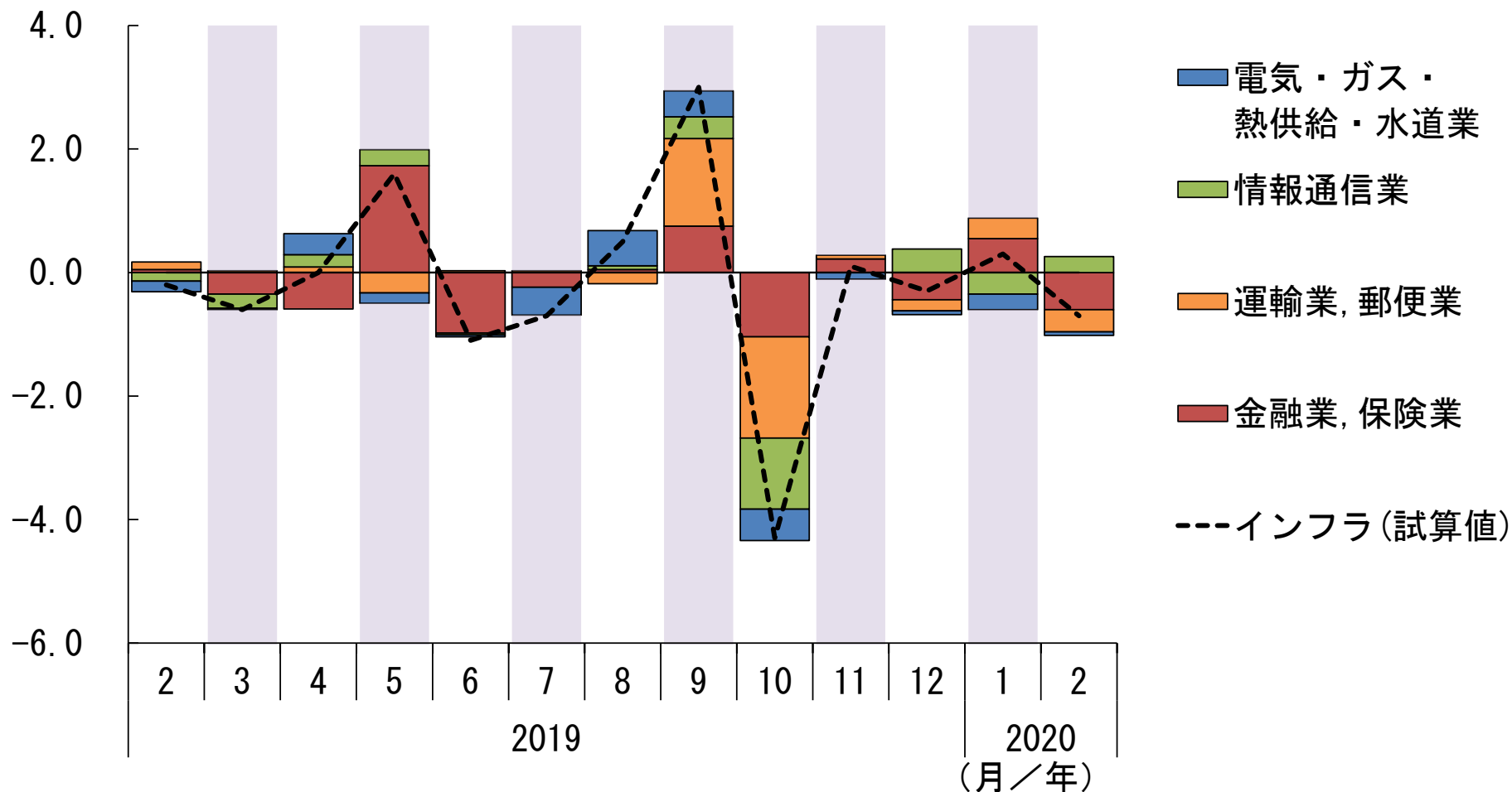
- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

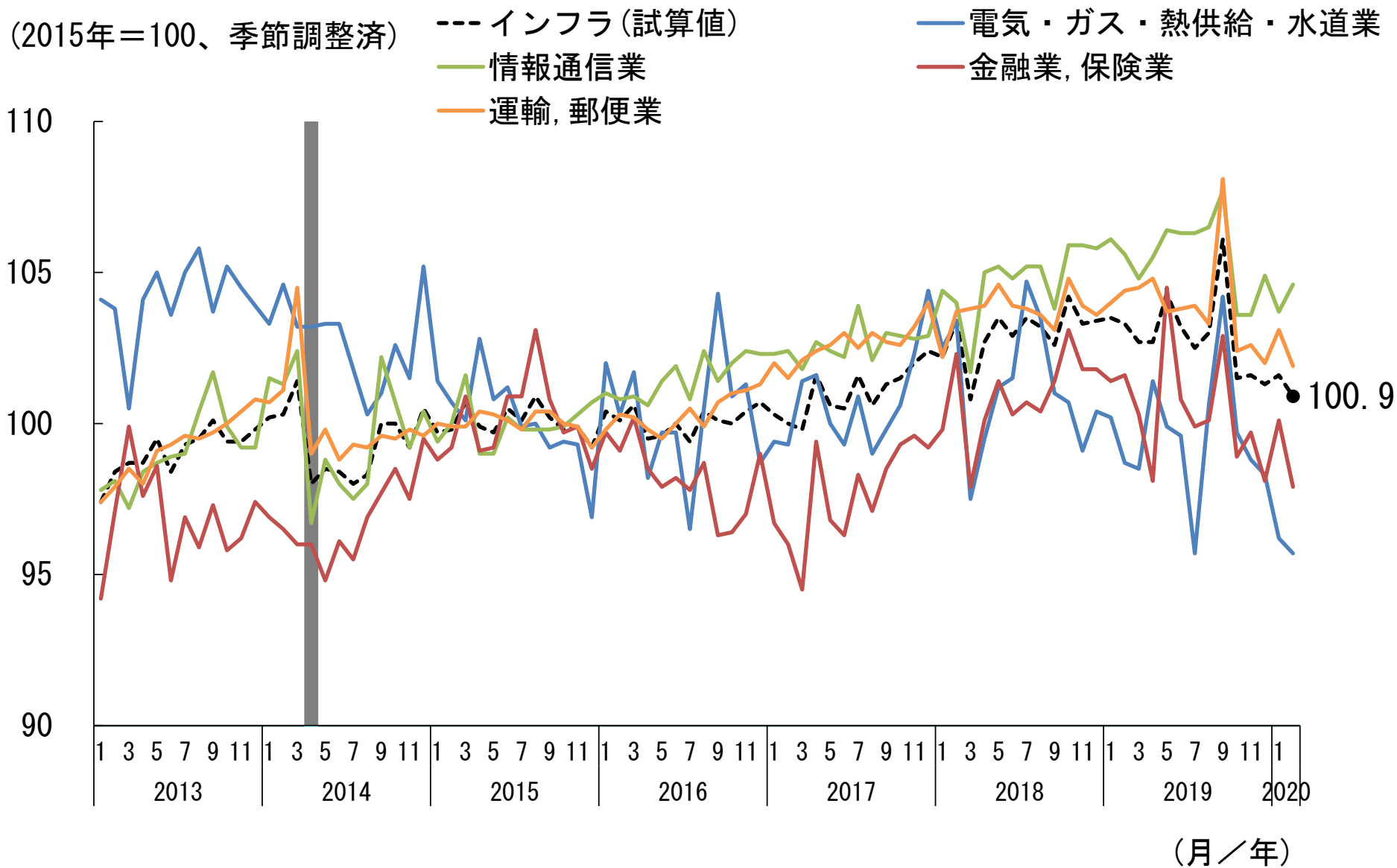
インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年2月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、情報通信業が上昇したものの、金融業、保険業などが低下したため、前月比-0.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別に見たインフラ型サービス活動の動向

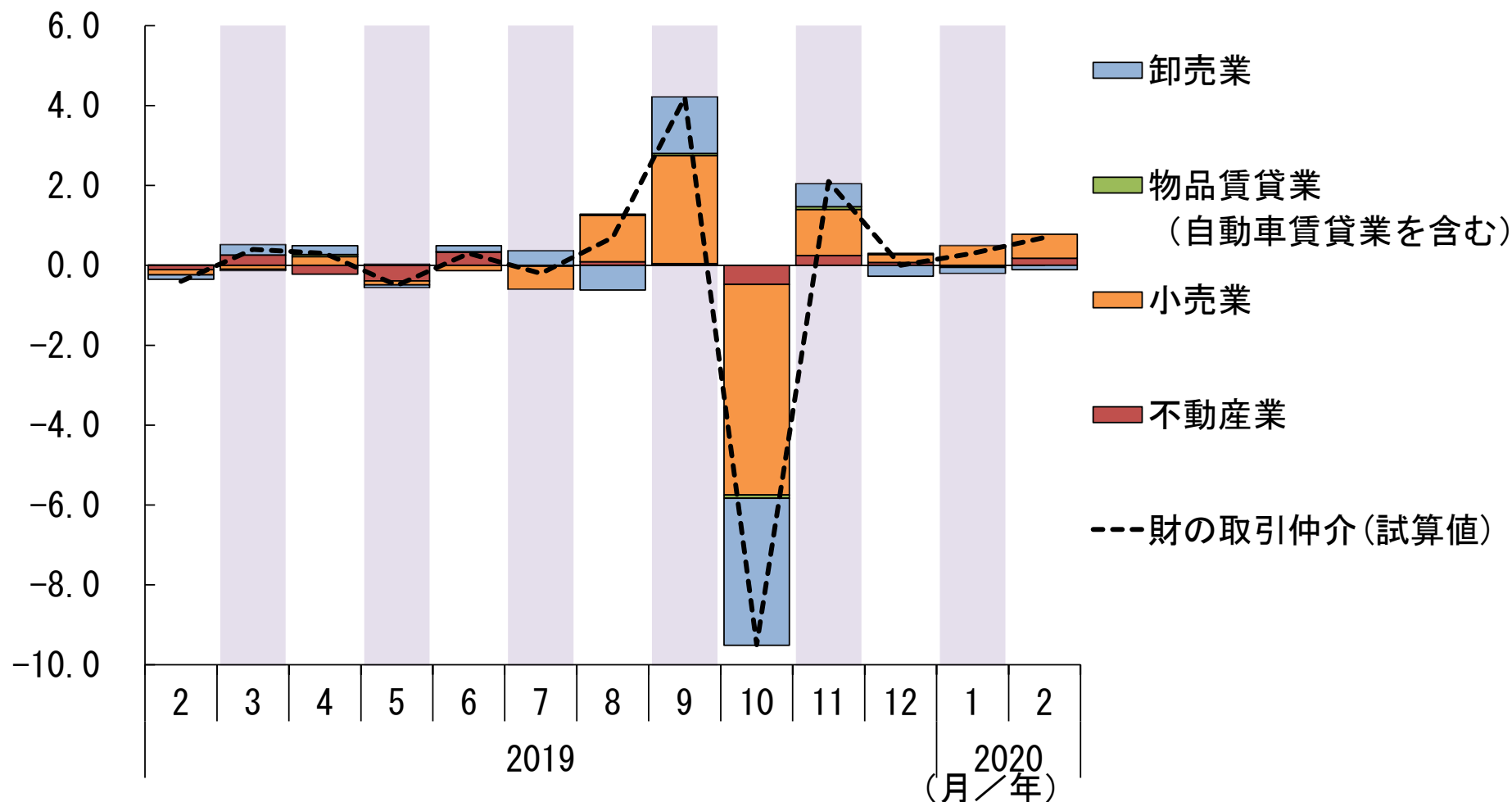


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年2月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、卸売業が低下したものの、小売業などが上昇したため、前月比0.7%の上昇。

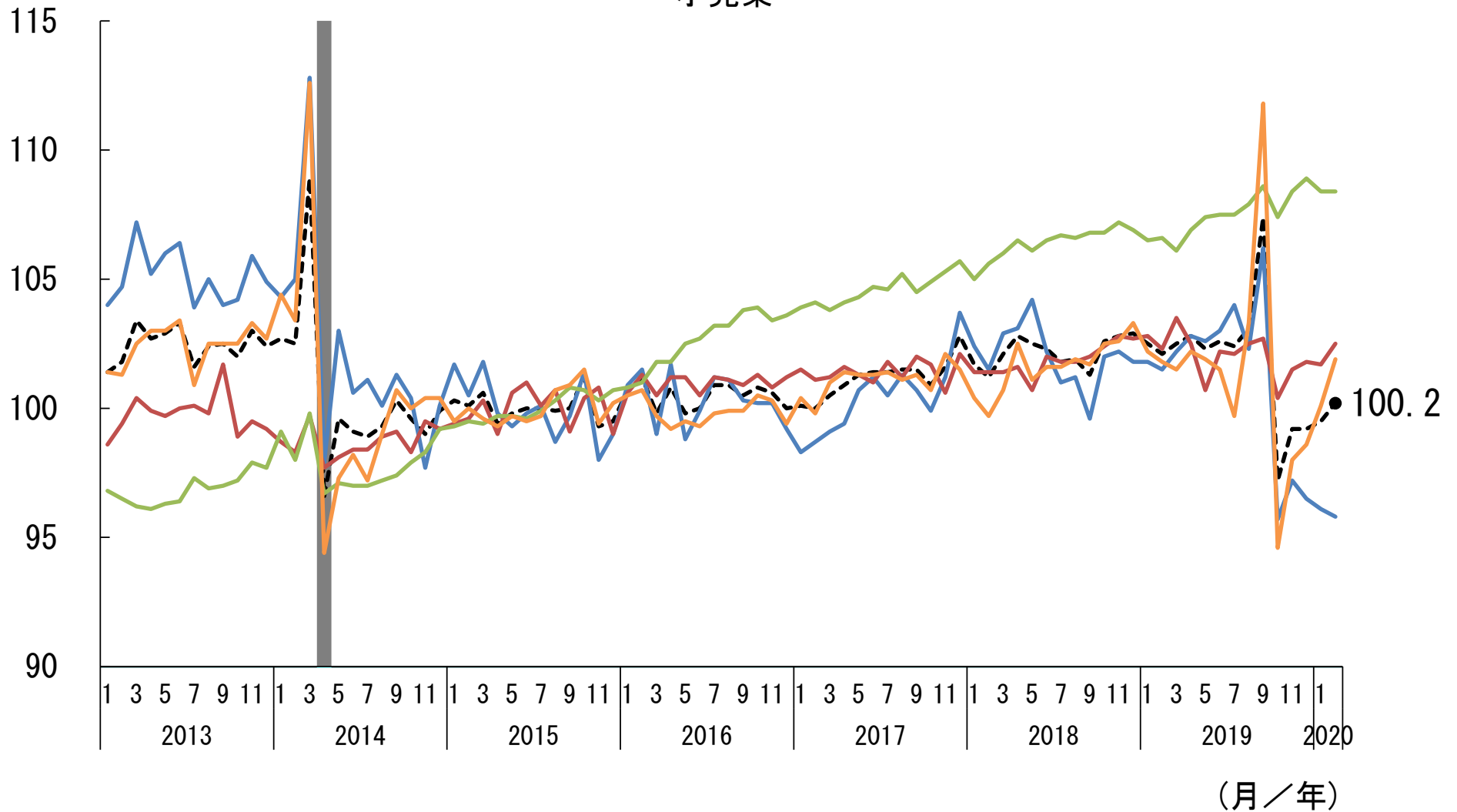
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 財の取引仲介(試算値) 卸売業
 不動産業 物品賃貸業
 小売業

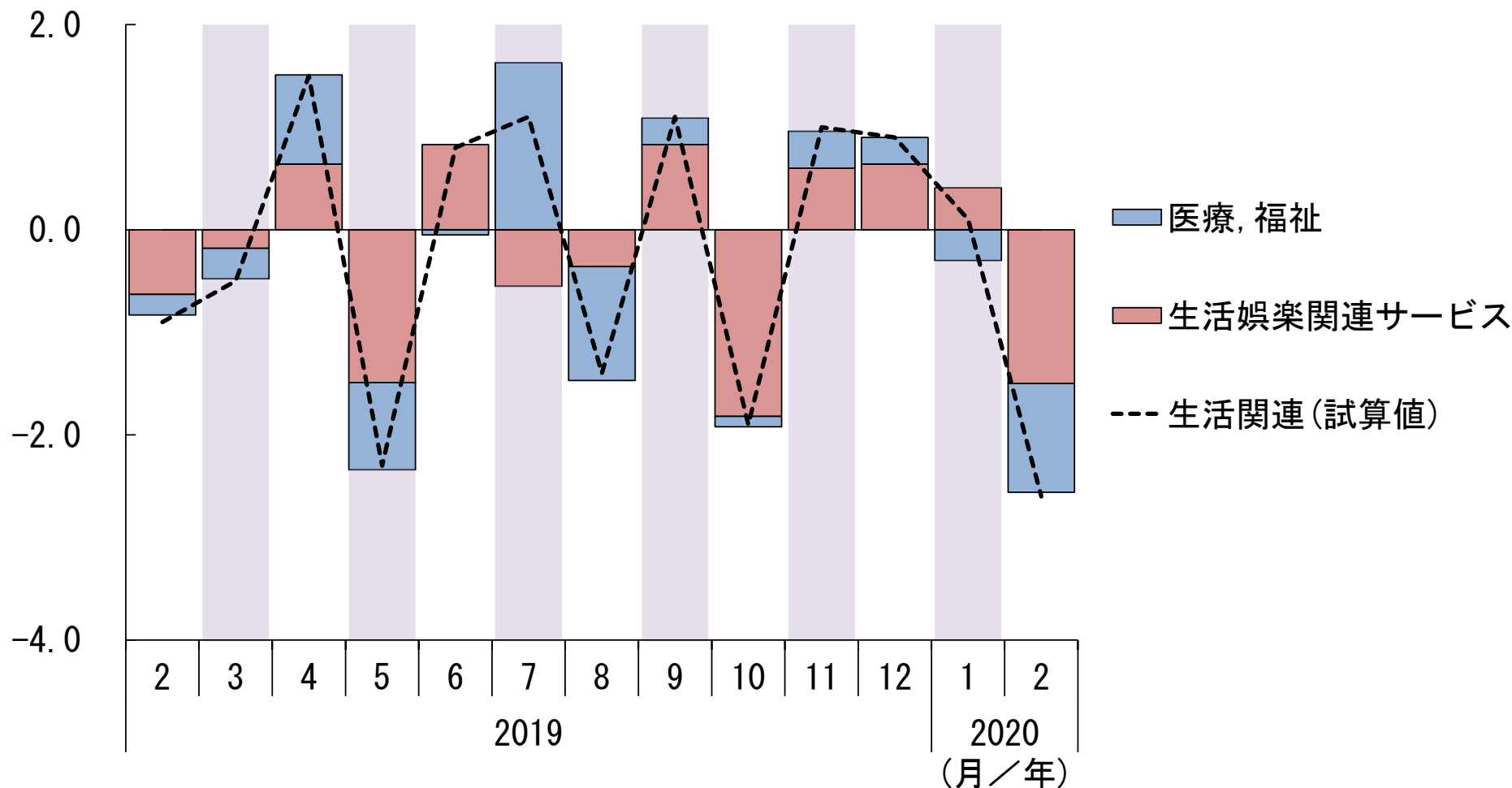


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年2月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、前月比-2.6%の低下。医療,福祉、生活
 娯楽関連サービスともに低下。

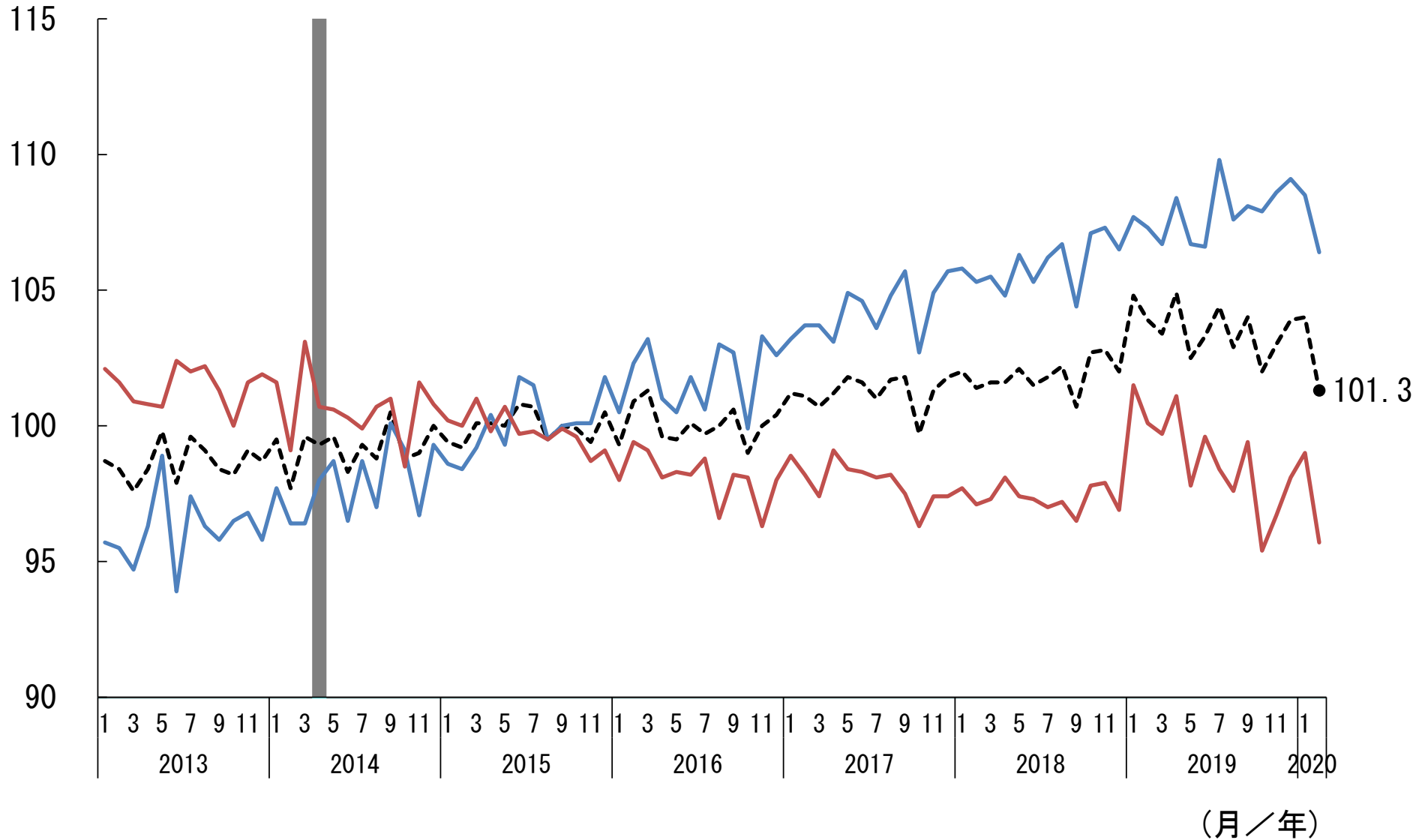
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。